# 狩

9画

ノ 犭 犭 犭 狩 狩（はねる）

訓 かる・かり　音 シュ

**なりたち** 失わぬように守る意味の守と、犭（けものへん）との会意形声字で、野山を犬で取り囲んで鳥獣を捕る狩猟を表した字。天子や諸侯は国土を守るために、領内で狩猟を行った。

**いみとじゅくご** ▼狩り。狩猟…狩りをして鳥獣を捕獲すること。山狩り…❶山で狩猟をすること。❷山中に逃げ込んだ犯人を大勢で捜すこと。桜狩り…桜見物に野山を歩き回って楽しむこと。潮干狩り…引き潮の干潟に出て貝を取ること。

**よみかた** 狩り場・紅葉狩り

# 猟

11画

ノ 犭 犭 猟 猟 猟（はねる）

訓 なし　音 リョウ

**なりたち** 旧字体は獵。たてがみのある獣の形をかたどった鬲と、犬を表した犭（けものへん）との会意形声字。犬を使ってたてがみのある獣を捕獲する狩猟を表した字。

**いみとじゅくご** ▼狩り。猟。猟師…狩りを職業とする人。狩人（うかど）。猟犬…猟に使う犬。猟銃…猟に使う銃。猟場…猟をする場所。狩り場。猟期…狩猟法で、狩りをすることを許している期間。禁猟…法律で狩猟を禁じていること。例禁猟期間 密猟…禁令を犯して、こっそり狩猟をすること。▼狩りをするように広く探し求める。渉猟…❶広くあちこちあさって歩くこと。❷多くの本を読みあさること。用例古今の名著を渉猟する。猟奇…不思議な話や異常な事件を好んで探し回ること。例猟奇趣味

**よみかた** 漁猟





# 狭

9画

ノ 犭 犭 犭 狂 狭（はねる）

訓 せまい・せばめる・せばまる　音 キョウ

**なりたち** 旧字体は狹。本字は陜。挟むの本字の夾（人が両脇（わきこ）に子を抱えた形）と、崖（がけ）の形をかたどり、崖の意味の阝（こざとへん）との会意形声字。崖に挟まれた〝狭い〟所の意味。また、〝狭まる・狭める〟意味。

**いみとじゅくご** ▼狭い。狭小…狭くて小さいこと。狭量…度量が狭いこと。心が狭いこと。狭軌…軌道が狭いもの。鉄道のレールの間隔が、世界の標準軌間（一・四三五メートル で、これを広軌という）より狭いもののこと。わが国の鉄道は、新幹線・地下鉄が広軌で、外はほとんど狭軌である。狭義…狭い意義。狭い意味。狭い解釈。偏狭…❶心が偏っていて度量が狭いこと。❷土地が狭いこと。

**よみかた** 狭心症・広狭

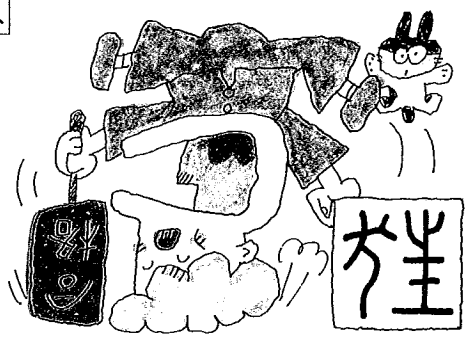
# 狂

7画

ノ 犭 犭 犭 犭 狂（はねる）

訓 くるう・くるおしい　音 キョウ

**なりたち** 本字は猟。草がはびこる意味の生と、犭（けものへん）との会意形声字。犬が暴威を奮うという意味の字で、〝荒れ狂う〟ことを表した。



**いみとじゅくご** ▼狂う。狂ったように。狂犬…狂犬病にかかった犬。狂暴…気が狂ったようにはげしく暴れること。狂気…気が狂うこと。普通でなくなること。狂喜…狂ったように喜ぶこと。狂騒…狂ったように騒ぐこと。熱狂…狂ったように熱中すること。酔狂…酒に酔って狂ったようになる意味だが、今は、物好きの意味に用いられる。発狂…気が狂うこと。精神に異常を来すこと。狂奔…狂ったように走り回る意味で、ある目的のために熱心に奔走すること。狂詩曲…自由な形式の、幻想的で華やかな楽曲。ラプソディー。